

2026年6月18日

株主の皆様へ

日産証券グループ株式会社

第21回定時株主総会 事前質問へのご回答について

この度は、当社第21回定時株主総会に先立ち、多数のご質問をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご質問のうち、株主の皆様のご関心の高いと思われる事項等を中心に、以下のとおりご回答させていただきます。

記

質問1	御社の配当について、昨年の中間配当は資本剰余金を原資として支払われましたが、資本剰余金を原資とする場合は株主総会で決議されるのではないのでしょうか。
回答	剰余金の配当につきまして、当社におきましては、資本政策および配当政策を機動的に行えるよう、会社法第459条に基づき、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。これに基づき、当社においては取締役会決議により剰余金の配当を行っているものでございます。 ご質問の資本剰余金を原資とする配当につきましても、会社法上の「剰余金の配当」に含まれるものであり、利益剰余金を原資とする場合と同様に、当社においては取締役会決議により実施されることが認められております。従いまして、昨年の中間配当につきましても、法令及び定款に基づく適切な手続により実施しております。

質問2	御社株式を保有していない取締役が取締役候補になるのはどうなのでしょう。自社株式を保有すべきだと思いますがいかがでしょうか。
回答	当社では取締役が株主の皆様と利益を共有する視点で企業価値向上に務めることが重要であると認識しております。一方で、取締役の責務は株式保有の有無によってのみ左右されるものでなく、当社の持続的な企業価値向上に応えることこそが最も重要であるとも考えております。 当社では役員報酬制度や業績連動報酬を通じ企業価値へのインセンティブを確保しており、株式保有の有無にかかわらず株主共同の利益の実現に向け職務遂行しております。 また、社外取締役につきましては、当社の経営監督、独立性の確保という職責を担っており、職務の透明性という観点もでございますので、自社株を保有するかどうかにつきましては、社外取締役ご本人に委ねております。

質問3	今後の金価格の見通しについてお伺いします。
回答	<p>金相場をはじめとする市況の今後の見通しにつきましては、各国の金融政策、為替、地政学的な情勢、需給など様々な外部要因に左右されます。将来の相場につきまして、確定的な見通しを申し上げることは困難であり、かえって株主の皆様のご誤解を招きかねないものと考えております。このため、今後の金価格の見通しについては回答を控えさせていただきます。</p> <p>なお、金相場に関するデータなどの情報につきましては、当社子会社の日産証券が作成している「金投資のとびら」というサイトに掲載しており、投資のご参考にして頂ければ幸いです。</p> <p>金投資のとびら 【公式】日産証券の金投資コラム</p> <p>※上記サイトのコンテンツは情報提供を目的としており、商品の投資勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。</p> <p>また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。</p> <p>投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。</p> <p>取引にあたっては、必ず日産証券ホームページに記載の重要事項、リスク説明等をよくご確認ください。</p>

※非開示の情報に関するご質問につきましては、回答を控えさせていただいているものもございませうことをご了承くださいませう、よろしくお願い申し上げます。